

芯

校長室通信 No.9 2024/10/03
文責：柿沼 透

「芯」・・・トウシグサの随の部分。(三省堂『新明解国語辞典』より抄)

トウシグサは和ろうそくの原料です。学校目標「しんの強い子ども」。花火のように華美ではないけれど、子どもたちの心の奥にある本気のともしび。その芯に火を灯す教育をみんなで進めていきましょう。

その「学び」に、火は付いていますか

子どもたちにとっての、初めての「できた!!」
その感動にあふれているのが、小学校ではないでしょうか。
そしてまた、その喜びに出会うことができるのも、小学校教師の醍醐味ですね。
天海先生による、3年生算数「円と球」。
コンパスを初めて使う3年生に、どのような指導をされたかご覧ください。



ここがベテランの技①



初めて使うコンパスの、印象や使い方を思い思いに発表。
コンパスの特徴をつかみ…
「やってみたい!」に火が付きました。



ここがベテランの技②



これははすごい!
コンパスを、人の足に見立てて、動作化。これなら、コンパスの針と鉛筆の役割が明確になりますね。
前のめりで見えていた子どもたちからは、「バレリーナみたい」という声が。
「できそうだ!」が、ぐんと高まりました。

ここがベテランの技③



この活動で、最終的にはこんな図形を描けるようになる、という学習の見通しを持たせました。子どもたちから湧き上がる歓声。
「学びたい!」が一層加速しました。

授業の成否は、導入ですでに決定づけられます。
天海先生の授業は、子どもが学習の見通しをもち、学習意欲が高められる創意に満ちていました。
子どもたちの学びに火をつける授業、さすがです。



秋山先生のご指導には、子どもたちの絶対的な安心感がいつもみなぎっています。